

## <埋立時の作業条件について>

### <受入廃棄物の確認>

「八丈島一般廃棄物管理型最終処分場への焼却残さ等受入基準について」(24.10.10)  
各町村に周知する。受入基準を満たさない廃棄物は、返送する。

### <埋立作業条件について>

#### (1) 作業機材及び作業人員

作業に先立ち、埋立事業者が「埋立作業計画書」を作成し、一組の承認を受けた方法で行う。

#### (仕様書・抜粋)

- ① 埋立作業に先立ち、場内の覆土置場に、作業に必要な覆土材が確保されていることを確認する。当日用いる覆土材を、覆土置場から埋立地内に運搬する。
- ② 埋め立てる廃棄物は、即日覆土等の措置を速やかに行う。
- ③ 埋立作業は、廃棄物が飛散しないように十分注意の上、締固め、覆土する。袋で埋め立てる場合は、袋が破損しないように埋め立て、覆土する。
- ④ 埋立作業時には、遮水シートほか埋立地内の設備を破損させないよう、誘導員を配置し、重機運転者と緊密に連携して、設備に接触しないよう十分注意の上作業する。万が一、設備の破損が疑われる事象があった場合は、ただちに委託者に報告し、指示を受けること。
- ⑤ 埋立作業終了後は、重機に付着した廃棄物を埋立地外に流出させないために、洗車設備等で設備を洗浄した上で、退場する。

#### (2) 作業時間帯

- ・作業日：土日祝日・年末年始を除く平日
- ・作業時間：午前8時00分から午後4時45分

#### (3) 気象による作業中止基準

以下の基準を超過した場合、埋立作業を中止する。

- ・天候：やや強い雨（1時間に10mm以上20mm未満）が10分以上継続した場合  
強い雨（1時間に20mm以上）の場合  
降雪の場合  
※降雨の計測場所は、作業場所とし、ハンディタイプの雨量計を用いる。
- ・視界：10m程度（重機の操作者から、重機の先端部が見えない場合）
- ・風速：八丈島は、年間を通じて風が強い。そのため、廃棄物の飛散防止として以下の対策を行う。
  - ① 焼却灰の湿潤状態を確認する。乾燥していれば、湿らせてから埋め立てる。
  - ② 埋立の際は散水の準備を行い、粉じんの飛散が目視確認できれば散水する。  
※強風の場合の作業中断の目安としては、平均風速が8.0m/秒 10分間継続する場合とする。  
※風速の計測場所は、作業場所とし、ハンディタイプの風速計を用いる。  
※台風等の影響による暴風警報、強風注意報が出ている時は、作業を行わない。

平成24年10月10日

各町村廃棄物行政所管課長 殿

東京都島嶼町村一部事務組合  
廃棄物対策課長

### 八丈島一般廃棄物管理型最終処分場への焼却残さ等受入基準について

日頃より、東京都島嶼町村一部事務組合の事務事業に対し、ご協力いただきありがとうございます。

この度、八丈島一般廃棄物管理型最終処分場の供用開始に際し、下記の基準で受け入れます。

各町村におかれましては、改めてご確認及び周知のほど、よろしく願いいたします。

#### 記

##### 1 焼却残さ

1. 熱しゃく減量は10%以下であること。
2. 含水率は30～40%程度であること。
3. 特別管理一般廃棄物でないこと。
4. 飛灰はキレート処理やセメント固化等の金属溶出防止処理を施すこと。
5. 固化していないこと。
6. 金属等の異物が混入しないように、予め確認すること。

##### 2 不燃物等

汚泥処理に伴って発生した沈砂は、予め洗浄した上で、金属等の不純物を除去すること。

##### 3 搬入時荷姿

1. 反転フック付きで、埋立作業中に破損する恐れのない、丈夫な仕様のフレコンバッグを用いること。
2. フレコンバッグは木製もしくは樹脂製のパレットに積載すること。
3. 原則としてコンテナ輸送すること。その他の方法を用いる場合には、事前に一部事務組合と協議すること。

以上